
平成 28 年度第 2 回彦根市環境パートナー委員会 会議概要

開催日時：平成 29 年 2 月 28 日(火) 13 時 00 分～17 時 00 分

開催場所：彦根市市民会館 第 3 会議室

【会議の内容】

1. 開会

2. 議事

(1) 基本方向 1～6 各指標の評価

1) 基本方向 1 について

- これまで環境出前講座は主に市職員が実施してきたのが現状である。今後、市民が主体となって取り組んでいただけるようになれば、市が行う活動とは別に評価に盛り込み、「計画策定当時の指標はこうであるが、実際はこういうことがみられる」というような表現で評価できればよい。
- 環境啓発用パネルの貸し出し件数は、パネルそのものにこだわらず、配布物など関連するものを数値で表して評価すればよい。

2) 基本方向 2 について

- ゆとりの実感度アンケートが 5 年間実施されていないのは問題である。これは環境指標であるので、実施されなかった理由を記載した方がよい。
- 市役所の他課が取り組む指標について、事務局が把握しきれていないものが見受けられるが、それも問題点として評価に盛り込めるとよい。
- 環境苦情件数の中には、典型 7 公害以外に不法投棄発見の通報が多いということであるが、それは典型 7 公害とは性格が異なるように思われるので、その取扱いについて再検討した方がよい。

3) 基本方向 3 について

- 自然環境保全活動の開催数については、所管課が複数に及ぶため事務局でも把握しきれていないので、他課と連携して情報収集に努めてほしい。

4) 基本方向 4 について

- 古民家活用率の調査が継続して行われておらず、その数値がわからないとのことであるが、指標である以上、調査はすべきであり、できていないのであればそう記述すべきである。
- 彦根城跡保存整備事業については、各年度で具体的にどのような整備がなされてきたか記載した方がよい。

5) 基本方向 5 について

-
- 彦根国体に向けて「きれいな街キャンペーン」のような取組はできないか。
 - 1人1日あたりのごみ等発生量については県内ワーストワンという現状のクリアを目標とするのは理解できるが、もっと市のごみ行政を良くしていくような目標(ベスト〇〇)に変えられたら良いと思う。
 - 大河ドラマ「直虎」や築城410年祭で観光客が増えると、市民が頑張って減らしたごみ量分が観光客によって出る事業系ごみ量で相殺されてしまう。その辺りを差別化してカウントできないか。

6) 基本方向6について

- 森林間伐については、その実施によりどういった効果や成果が得られたかを具体的に記載した方がよい。
- 太陽光発電設置施設については、発電量を把握できない施設がどういった理由で把握できないのか(故障しているのか、モニターがないのかなど)を明確に記載した方がよい。
- 公共交通機関利用者数の指標は、自家用乗用車からの乗換を見込んで設定された目標であることから、その視点で評価を行う必要がある。
- 市域の二酸化炭素削減の取組は、緑のカーテンとライトダウンだけでなく、地球温暖化防止の啓発活動や出前講座、ハイブリッド車の導入なども記載した方がよい。また、事業所や家庭も含めて関係するものも挙げた方がよい。

(2) 第3回の進め方および日程について

これまでの評価・ご意見の取りまとめとなる第3回会議を3月下旬に開催する予定であったが、今回いただいたご意見・ご指摘は多数あり、他課に渡る事項も多いため、評価報告書案作成のため少し時間をいただき、年度は変わるが4月以降に開催したい。

3. 閉会